

新入園児を迎へて

目白幼稚園 和田 實

手鹽に掛けた園児も、愈々幼児の域を脱して、小學校の児童ならうまゝして居ます。保姆に探つては、うら淋しい感じのする時で、小學校の教育が、より一層自發活動を重んずる教育になつたなら、送り出す幼児にもさぞや幸福の事であらうのに、なき々餘計な心配をして見たり、一層、

小學校の先生になつて、幼稚園から來る子供を理想的に扱つて見たら？なき々、空想めいた考を起して見たりして、唯、去り行く幼児の後姿のみ見送らるゝ心地ばかりが、心の一杯を支配して居るまゝに、何さまあ氣の附かない事だせう？、後には、既に「四月からは幼稚園に行くのだ、早く四月になればよいに」を待ち焦がれて居る幼児が、小さなランドミバスケットを用意して、私も、兄さんやお姉さんの様に、毎日幼稚園に通ふのだを心待ちして居るのです。去り行くものを心持よく去らせ、來るものを心をこめ

て歓迎するのが吾等の務であつて見れば、由なき哀愁に、あたら朗かな幼児の氣分を損ふよりは、來る可きエンゼルの新なる心を取り結んで、また新なる努力の一年を試みんこゝこそ保姆の職責でも云ふのでありませう。

扱て、斯様に考へて見るに、新入園児を迎へる可き仕度は如何？、運動場庭園の手入はよきか、新園児のために用意す可き玩具は何がよいか、目新しい觀察材料は無いか、運動具の危険は無いかなき々、夫れから夫れへを考へて行くに、中々注意す可きこゝが澤山あります。況して、新入園児をして、幼稚園の楽しさを味はせようなき々考へるに、四月の保育プランは中々、生やさしいこゝでは無い様です。他年經驗を積まれて居らるゝ方は兎も角、始めて幼稚園に奉職なさる新卒業の保姆先生なきには、一寸、途方に暮れる問題も云つても過言ではなきさうです。夫れで、

婆心が動機となつて新卒業の保姆先生の爲めに、新入園児を迎ふる幼稚園の用意でも云ふ様なこゝを述べて見たいと思ひます。

一、園舎の用意

(一) 玄関、新園児の歓迎門たる玄関、即ち幼児の昇降口は古きもの不用の物なご片附けて、清々しき氣持を持たせる様にして、履物の整理、上靴の整理場所、帽子、外套なごの整理場なご手落ちなく用意するこゝが必要ですが、尙破損修理の必要な場所には、夫々手入して置くこゝです。又、雨降なごに際しては、傘台、濡れた外套なごの整理方法なご、手筈をきめてイザに云ふ時に困らぬ様準備するこゝです。

(二) 保育室、整頓と掃除を入念にして、机の配置に心を入れ、周囲の壁に適當な繪額を掛け、天井からは適宜な飾りものなごを釣り下けて、新園児の興を牽く様にし、机上にはお伽用の繪本の數々を出して置く可きでせう。

(三) 遊戯室、滑り臺、杵登り、なごの運動具で、古參の幼児が遊ぶ様を、面白く眺めさせる様にして置く可きでせ

う。無論、幼児の駆け廻はれるに都合のよい様に成る可く餘計な物品を出して置かぬこゝです。茲で、古參幼児の活躍する様を自由に見させ、或は知り合の友達と連れ立ちて新園児も遊べる様なものがあれば用意す可きでせう。

(四) 便所、殊に清潔にして置く可きです。手洗の場所も充分に用意して、適當な所には必要な石鹼や消毒藥の二三も用意す可きです。

二、庭園と運動場

(一) 花壇、手入をしてきれいにして置くこゝ、出来るなら時機の花を適當に植え、次の時季の種子も少しは蒔いて置くこゝ。

(二) 草と木、庭園内に草と木のあるのは當然であり、又必要です。大きい木には適當な手入をして藤棚、築山、なごも修理して置くこゝ、適當な所に雜草を生やして置くこゝも必要です。雜草には幼児の遊戯材料たるものが澤山あります。

(三) 運動具、園内には運動具があるでせう。手入と検査を充分にして危険のない様に注意して置かねばなりま

せん。そして、新園児に自由に使用さす可きものこ、多少制限を要するものこを區別して注意する心構へをして置かねばなりません。

(四) 砂場、砂場の砂を新にして用具も新に且豊富に備へて置く可きです。無論、砂場には雨水の流れ込まぬ様に手入を充分にして、危険物や不潔なものゝ無い様に

(五) 動物舎、小鳥小屋なごも、きれいに手入して、兎の小屋も心持よく眺められる様に、

(六) 運動場、駆け廻はるゝ適當な廣場は硝子や、瀬戸物の破片なごの落ちて居ない様に、能く掃除して、置くこごです。

三、玩具と材料

(一) 球、ゴム球の大きいのを數多く置くこご、大きさは徑五六寸のものが適當です。

(二) 人形、手頃の人形を出して置いて球を好まぬ子供に貸す様に用意するこごです。

(三) 繪本、自由に見らるゝ様に出して置くこごです。漫畫の上品なものなごも、交つて出て居るこごが必要でせ

う。

(四) 電車、自動車、の様なセンマイ仕掛のものを數種出して置いて色々々々實驗して遊べる様にして置く可きです。尤も之れは子供自身が自分でするのではなくて附添つて來た人に爲て見せて貰ふ種類のものゝ差支ないので、

(五) 實驗的玩具、其他、適宜な實驗的玩具を出して置いて色々々々實驗して居る間に時の經つのを忘れる様にす可きです。

(六) 手工材料、折紙、豆ミヒゴ、厚紙ミ鉄、糸ミ針、糊、なご適當に用意して、請求する子供に與へられる様用意するこご。

(七) 圖畫材料、圖畫用紙ミクレオン、ミを用意して請求する子供に自由に與へるこごの出来る様に、また、紙の外に、黒板を修理して置いて、白墨を充分に出して置いて自由に板書するこごも出来る様にして置かねばなりません。

以上物的準備が充分に出來たらば、次には是等の設備を用ゐて、如何に新入園児を保育す可きかです。

四、新園児歓迎

保母は幼稚園の始業前に出勤して、幼児の父兄と共に來るのを玄關に於て、先づ歓迎す可きです。多くは幼稚園に來るのを楽しんで來るに相違ありませんが、夫れにしても、イザ幼稚園の玄關なるこ、何もなく不安に襲はれ易いのが、幼児の心理状態でせう。其不安を成る可く早く取り去つてやるこが、保育の入門で、幼児の心を得る第一歩であります。

五、古參幼兒の誘導的活躍

新園兒を歓迎する方法の一つとして、最も必要にして且有效なるは古參幼兒の活躍です。古參幼兒が兄さん振り、姉さん振りを發揮して、新園兒を引き廻はすこは大に新園兒を悦ばせると共に其をして、早く幼兒の社會が同化し得るものであります。先生は豫め古參幼兒を諭して置いて、此名譽職を努めさせるこが肝要であります。

六、新園兒歓迎會の催し

新園兒の大凡、揃つた所で、新園兒の歓迎會(實は新園兒の入園式)を舉行す可きです。そこで、一寸御斷りして置きたいこは、吾人は新園兒の入園式をなぜ歓迎會と云

つて入園式と云はないか云ふこです。生真面目な人は入園式もしないで歓迎會とは受取れぬと云ふでせう。併し、考へても御覽なさい。全生活を擧げて、遊戯三昧に沈ける可き幼兒をつかまへて、嚴肅な儀式を行ふと云ふこが、無理か無理でないかを。近來、各所の幼稚園で、此種の儀式を鹿爪らしく行つて居る所の多いを見て、吾人は私かに怪んで居るものです。否、之を行つて居る人の氣が知れないのである。故に、吾人は之を儀式としないで、却つて、之を歓迎會とするのである。扱て、歓迎會は如何なるプログラムで進む可きか、其計劃には種々な案もあらう。併し、内容の大體は先生のお話、古參幼兒の唱歌、遊戯、談話、活動寫眞の映畫等である。尙、歓迎會のあとでお歸りの時には古參幼兒の製作物をお土産として新園兒に持たして歸す可きであります。此歓迎會は出來るならば一週間位續くこが必要であります。

七、新園兒の最初の躰方

歓迎會で有頂天になつて居る中に、早くも新園兒に必要な躰方をして仕舞はなければなりません。園兒相互の間に

禮節を守る可きこと、玩具類を遊ぶに作法あること、運動具を使用するに法度あること、便所へ行く時の作法、水や湯を呑みたいときの手續きなど、心得として耳から入れる可き性質のものではなくて、實行により仕付けられ、作法として習慣づけられる可き性質のものでなければならぬ。何れも、幼児の悦んで居る中に、何時の間にか仕付く可きもので、之を仕付ける爲めに、幼児を束縛し、壓制し、苦しめなす可きものではありません。例外は無論ありますが。

八、早く子供を知れよ

第一に子供の名前を早く知らねばならぬ。子供の名前を早く覚えられない様なことでは、保姆としての心掛に於て、既に、缺くる所ありと云はねばなりません。次には、善き子供と悪き子供、優秀な成績を現はす可き子供と、劣等な成績を現はす可き子供とを、早く見別けることです。此見別を早くつけて、先づ、悪くなりさうな子供を警戒して、急所を抑へることを忘れてはなりません。之を忘れて、うっかりして居る中に、不逞な行動を現はして、氣の弱い子供をいぢめたり、善良な子供を、おびやかしたり、

或は、悪い方面に誘惑したりする様になつてから、驚いたりなきしては、之を矯正するのに、非常な骨折をせねばなりません。

九、幼稚園が餘り好かれぬ子供の處置

早く子供を見別けることに因つて、幼稚園が餘り好きになれさうもない子供、即ち、幼稚園に来ることを好まぬ様な子供を發見したら、之を如何にして普通の子供の様に、幼稚園を好きにさせることが出来るかを研究して、色々方策を講ずる必要があります。先づ第一に先生は幼児に「中良し」になつて、其子供の特に興味ある方面に、適當な遊戯を探してやり、歸り掛には、明朝の登園を約束して返し、朝は玄關口での歡迎に、殊に、意を用ゆる様にしなればなりません。四月の始めには多くの新入園兒のあつたものが、一人減り、二人減りして、だん／＼來なくなる様な子供の出て來るのは、夫れだけ幼稚園の側に、何か足らぬところがあるか、保姆の腕前に不足があるか、然もなくば其子供が特別な我儘な子供であるかの何れかであると思はねばなりません。

十、父兄に安心させること

何物にも代へ難き子寶を奮發して、幼稚園に入れたので
すから、幼稚園で、いぢめられはしないか、泣いては居な
いだらうか、鼻を垂らしては居ないか、おしつこを早く知
らせることが出来たらうか、なご、色々な心配をして居
るのが、親心でせう。中には、自分の子供が先生に何れだ
け大事にされるだらうか、成る可く他の子供よりも、餘計
に先生のお目に留まつて、特別の仕合せな取扱を得たいも
のだなご、蟲のよいこを考へて居る親御もないこは云
へません。或は此反對に、自分の子供が冷遇される様なこ
さが、在つたら承知しないぞ等々猜疑な眼で見居るもの
も、無いこは云はれません。此間に處して、先生は公平無
私に、尊き使命を果して、行くこを、父兄に見せねばな
りません。保母は機會を見付けては、父兄と立話を、度々
して、其態度を宣明して置く可きです、即ち此頃の流行語
の「聲明」云ふこを、適當にすることです。一方に適當
に聲明すること共に、一方には保母の活動に抜け目の無い様
子を見せて置けば、父兄は先生の用意周到なのに安心し

て、其大事な子供を托することになりませう。

以上申述べた様な風に、學年始めの仕事が進んで行け
ばそこで、保母は、徐々に、保育計劃を實行して、成績を
擧げるこが出来るでせう。

お知らせ

昨年十月、名古屋市に開かれた第五回全國幼稚園
關係者大會の「記録」が出来ました。御入用の方は
至急左記宛御申込下さい。(賞費、送料共に金八拾
五錢)

名古屋市中區南伊勢町二丁目

市立第二幼稚園内

名古屋市保育會